

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2021年 月 日

事業所名: アニマートかわにし

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	プレイルームと運動室の2つがあるため、用途や人数により場所を分けて使う事が出来ている。	ほとんどの保護者が「はい」と回答。事業所にあまり足を運んだない方で「どちらともいえない」との回答が数名あり。	概ね満足していただけていると思うが、部屋が分かれている分死角になることも多いため怪我やトラブルが無いように心がける
	2 職員の適切な配置	あと1~2名必要	はい...60% どちらともない...10% わからない...30%	スタッフの補充は急務であり、引き続きメディアを使って募集する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動スケジュールの視覚支援や音を利用し、その時々にあった整備を行っている	はい...60% どちらともない...10% わからない...30%	引き続き、利用者の特性に合わせて環境を見直していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	物の整理整頓、毎日の掃除、消毒、換気により清潔で活動しやすい空間となるように行っている	はい...70% どちらともない...5% わからない...25%	これからも気持ちよく過ごせるよう心がける
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員減により、ミーティングという形は少なくなっているが、業務後の話し合いは随時行っている		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない		今のところ実施予定はない
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	会社で合同の研修を受けていたが、コロナにより最近では減っている		オンラインなどを利用し、外部研修を受けれる機会を増やし資質向上を目指す
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援の記録や送迎時での保護者からの聞き取りを合わせて計画書を作成		相談員さんとのモニタリング・学校との連携を通じてさらにニーズの把握に努める
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	毎月、子どもの現状に応じた支援内容となるよう月の計画を立てる時点で見直しを行っている	はい...90% わからない...10%	引き続きアセスメントを正確に行い、個別の課題にあった支援計画をしていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	半年ごとに見直しや頑張りスタンプカードの更新時の見直しの度にスタッフで話し合い意見をまとめている		今後も継続して行う
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々の変化に対応・支援できるように、業務前後で話し合いを行っている	はい...80% わからない...20%	日々の話し合いを継続して行い、より計画に沿った支援内容にしていく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	日々の話し合いの中でプログラムを決定動・静のプログラムを偏りなく、飽きることなく出来るよう内容を工夫している		今後も活動内容を工夫しながら遊び、活動の中で社会生活に必要な能力が身につけられるようにしていく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は短時間で取り組める内容を考えて実施、休日は外出をメインとし、休暇時にしかできない体験ができるようにしている	はい...95% わからない...5%	感染対策をしながら今後も継続して行う
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	一カ月の予定を立てる時に活動が偏らないよう、又新しい活動内容も少し取り入れるようにし、色んな経験ができるよう工夫している		来ている子どもたちに合わせ柔軟に対応していきながら今の形を継続して行う
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	随時情報共有を行い、確認している		今後も継続して行う
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後その日の出来事、車での様子を全スタッフで共有している		今後も継続して行う
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	その日のうちに担当した職員が記録し、スタッフ間でも話し合いを行っている		今後も継続して行う
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回又は必要に応じてモニタリングを行っている		今後も保護者の方と話し合いながらより具体的に達成できる到達目標を設定していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議は行われておらず、相談支援事業所とは毎月モニタリングをし話し合う		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在該当者なし		現在該当者なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在該当者なし		現在該当者なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援員や保護者を介して情報を得ている		今後児童発達支援事業所から移行してくる場合は、事前に支援内容について情報を共有できるように努める
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当者がいなかったため、今後そのようなケースが発生した際情報共有を行う		今後卒業者がいる場合、保護者からの同意を得て情報提供したい
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との連携は出来ていない 研修はできるだけ受講するようにしている		相談支援事業所からの情報を得ながら専門機関との連携を模索していく
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	ほとんどの子が地域の学校に通っており、デイに来る日以外は友達と遊んだり、習い事をしているのであまり必要ないと考えている	はい...30% どちらともいえない...10% いいえ...10% わからない...50%	今後は必要に応じて検討する
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	近隣の住民・店舗との交流は大切にし、イベントに協力してもらっている。 地域清掃を定期的に取り入れるようにしている		今後も継続して行う
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明	はい...85% どちらともいえない...5% わからない...10%	今後も丁寧に説明し、支援内容が伝わるよう工夫する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	半年又は一カ月ごとの見直しの際説明	はい...90% どちらともいえない...5% わからない...5%	サービス計画を分かりやすく保護者に説明していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	十分には出来ていないが、相談を受けた際や送迎時に話すようにしている	はい...30% どちらともいえない...20% いいえ...10% わからない...40%	保護者様の状況を見て、必要に応じて対応等について伝えていくようにする
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	主に送迎時、時には電話を使って様子を伝えながら課題についても共通理解ができるようにしている	はい...90% どちらともいえない...10%	今の状態を継続しつつ、頑張りカードの目標を保護者の方と一緒に話し、より子どもの課題について共通理解ができるよう機会を増やす
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時やそれ以外でもいつでも相談してもらえるようコミュニケーションをとっている	はい...50% どちらともいえない...20% いいえ...20% わからない...10%	いつでも相談しやすい事業所であるようさらに心がける
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を年に一回行っていたが、今年度はコロナがあり中止にした	はい...30% どちらともいえない...20% いいえ...20% わからない...30%	今後も継続して行う予定ではあるが、コロナなどの状況を踏まえ判断していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	今年度は苦情無し 職員で対応できる事は職員間で周知対応すると同時に相談支援事業所に相談・報告している	はい...60% わからない...40%	今後苦情や要望を言いやすいように工夫する必要がある
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援や個々にあったコミュニケーションを実施するようにしている。ご家庭には、連絡帳やメール、手紙を活用	はい...90% わからない...10%	今後も継続して行う
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	不定期に発行していた通信が今年度は少し減ってしまった 活動の様子は時々個別に写真を貼って見せている	はい...70% どちらともいえない...10% わからない...20%	ブログ更新、写真のお渡しの継続と共に毎月の予定表に合わせてミニ通信を発行していく予定
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイルは鍵のかかるロッカーに保管、不要になった情報はシュレッダーかけるなど秘密保持の徹底を行っている	はい...80% わからない...20%	今後も継続して行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	その都度必要な事は通信等で発信しているが周知徹底できていない	はい・・・70% どちらともいえない・・・5% いいえ・・・5% わからない・・・20%	時期などにも合わせ通信を利用して伝えていく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回訓練を実施	はい・・・70% どちらともいえない・・・15% わからない・・・15%	参加出来ていない方に伝わっていない場合があるため、通信の様子を乗せ、全員に情報が伝わるようにする
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内研修を実施		今後も継続して行う
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	1.切迫性 2.非代替性 3.一時性の3要件を満たす場合にのみ拘束の可能性がある事を伝え同意書を得ている		同意書はもっているが、拘束しなければいけない可能性がないため計画には掲載しておらず、今後必要に応じて対応していく
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当している児童は現在無し 契約時にアセスメントで保護者から聞き確認している		今後食物アレルギーのある児童が利用する際は保護者に依頼し医師の指示書をいただき対応する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	その都度作成するようにはしているが、記入し忘れている事も多い		今後も徹底して継続する